

2017/04/04

第4回新田祭り

今年は新田の帰国が通常より3週間ぐらい早く、再渡米するのは4月4日との事なので、日本では年度始めで色々忙しい日だが4月3日(月)に新田祭りを行う。

今年の参加者は本人の新田を含めて19名と大賑い(文中順不同敬称略)、初参加者も2名いて広島からも参加となり、「あいつが来るなら俺も参加する」とスケジュール変更したり、重症の花粉症を押しつけての参加、会議を切り上げての参加と、大賑い。

参加者は出身中学別に(太字は初参加者)

(名陵中) 金川・時田・山田・**夏川**・藤垣・岡村、(向洋中) 筒井・**原田**・細川・野田・澤本、(日新中) 村川・守永・吉川・増田、(長府中) 近藤、(文洋中) 坪田、(宇賀中) 新田、(転校生) 西村の19名。

こうやって出身中学の話となると転校生が「俺は中学が無い」とイジケルがマアマア。

今までは日新が王道を歩んでいたが主力が欠席で、名陵に天下を取られ、分家向洋にも後塵を浴び、ついに第3党となり政権交代となる。

アメリカ人の新田は3時過ぎに羽田に到着、増田が迎えに行きホテルまで送ると、そこには金川と藤垣が待機、大変なVIP扱いだ。

5時から花見予定だったので数名はなぶさに集まるが、まだ四分五分咲きなので花見は止めて乾杯の練習をしようとなる。適度に飲み始めるが既に純平はうるさくて、しつこく新田に絡み始める。

宴が始まる6時までには続々と集まり(坪田は仕事の関係で7時に登場)誰かの乾杯の音頭で本番開始(誰が乾杯の音頭を取ったか分からないが誰かが乾杯をしたのは間違い無い)。

同期の集まりに初参加の夏川・原田は同中学の者と話がはずんでいる、酒が入ると例によって純平の電話攻撃が始まる。電話を掛けられた人達は酔っ払いが順番に話すから迷惑だろうね。掛けているこちら側も純平が無理矢理電話機を回すから迷惑しているんだよね、人の迷惑考えない奴だから。

細川差し入れの広島の酒、大吟醸で美味かった。守永の何処かの地ビール、黒ビール風だが飲みやすかった。増田のワイン、葡萄の出来が良い年の物で、判る人には判る味だった。恒例となった亨チャンの獲物ジビエ、鹿肉はユッケ風、猪は野菜と味噌炒め、ユッケ風は絶品だった。毎回料理方法が違うのいいね。

季節野菜のてんぷら、う巻、東京湾のアナゴ、メヒカリの揚げ物、しめサバ等、美味かったねえ、俺たちのおかげではなぶさの大将、腕を上げたんじゃないか。酒も料理も美味しい、長生きはするもんだねえ。

いつものように統制の取れない宴会となるが、今までの中で一番楽しかったんじゃないか。初参加者の原田は船戸与一先輩の弟だと紹介すると大半の者がビックリ。中には船戸与一先輩を知らない不届き者もいたが。知らない人はネットで調べなさい。

メの蕎麦を食べ、新田の最後の挨拶でお開き。数名はあまり咲いてない桜の下を通り、新田の宿泊ホテル経由（ここで集合写真を撮るが写した人は俺が写ってないとイジケル）で門仲駅へ。

翌4日は09:30に純平がホテルに迎えに行き、上野公園で花見、そこに11:00に増田呼び出され合流。ここでもVIPだ。

3人で昼飯を喰うが、新田の食べる事食べる事俺の倍は食べる、座るとすぐビールは注文するし、最後は甘いデザートだと言い出す。アメリカ人だね。（ここは新田のおごり）

成田の出発時間に合わせ京成スカイライナーに乗せる。



新田おごりの昼飯

無事に送りました

楽しい新田祭りでした、来年も生きのびて楽しくやりましょう。

(4/4 幹事増田)

写真は別に配信されます。